

心臓財団 季報



公益財団法人

日本心臓財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-10 松楠ビル6階

■Tel: 03-5209-0810 ■Fax: 03-5209-0830 ■e-mail: info@jhf.or.jp ■URL: https://www.jhf.or.jp

No.254 MAR.10, 2024

令和5年度日本心臓財団研究奨励
第4回日本心臓財団拡張型心筋症治療基礎研究助成
助成対象者 発表

日本心臓財団では、循環器領域の研究に携わる少壮研究者を対象に研究助成を実施しています。

本年度は、40歳未満の研究者を対象とする第49回日本心臓財団研究奨励に28名の応募があり、選考の結果、研究奨励10名が選ばれました。

また、拡張型心筋症治療基礎研究助成は、拡張型心筋症で亡くなられた患者さんのご遺族よりいただいたご寄附をもとに設立されたもので、病態解明、治療開発に役立つ基礎研究に助成するものです。年齢を問わず募集を行い、今回第4回を行い8名の応募者より2名が選ばれました。

助成対象者の氏名と研究テーマを紹介いたします。

選考委員

(五十音順、敬称略)

委員長	山本 一博	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学分野教授
委員	家田 真樹	慶應義塾大学医学部循環器内科学教授
	泉 知里	国立循環器病研究センター心臓血管内科心不全科部長
	今井 靖	自治医科大学内科学講座循環器内科学部門教授
	辻田 賢一	熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授
	日比 潔	横浜市立大学医学部循環器内科学教授
	湊谷 謙司	京都大学大学院医学研究科心臓血管外科学教授
	南野 哲男	香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学教授
	安田 聡	東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野教授
	渡辺 昌文	山形大学医学部内科学第一講座教授

第49回日本心臓財団研究奨励 対象者 (五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



網岡 尚史 (38歳) 岡山大学病院 循環器内科 医員

アンギオテンシノーゲンに注目した脂肪肝形成機序とその動脈硬化への影響の解明

レニンアンギオテンシン系の活性化は高血圧や動脈硬化の促進につながります。アンギオテンシノーゲン(AGT)は同系の唯一の器質であり、RNA干渉による肝AGTの産生抑制は高血圧の治療薬として注目されています。興味深いことに肝AGTの抑制は基礎実験において脂肪肝を抑制することも示されています。本研究ではAGTが脂肪肝や動脈硬化形成に及ぼす機序を検討し、生活習慣病の新たな治療創出に寄与することを目指します。



稲住 英明 (38歳) 京都大学医学部附属病院 循環器内科 客員研究員

加齢が心筋の拡張能を低下させるメカニズムとその性差の解明

「加齢」に伴い心筋の拡張能が低下するメカニズムを、高齢マウス由来心筋と若年マウス由来心筋を比較して解析することにより明らかにします。また拡張能は男性に比べ女性の方が低下しやすいとされています。その「性差」のメカニズムを明らかにすることで、特に高齢女性のHFpEF(収縮能は保たれているが拡張能が低下した心不全)患者さんをターゲットとした新規治療法の導出を目指します。



岩井 雄大 (36歳) 国立循環器病研究センター 心臓血管内科冠疾患科 医員

数値流体解析を用いたシアストレスによるMINOCAの発生機序の解明研究

急性心筋梗塞は心臓を栄養する冠動脈の動脈硬化に伴う急性閉塞もしくは狭窄により心筋が壊死する疾患である。近年、冠動脈狭窄を認めない心筋梗塞MINOCAが注目されており、原因として動脈硬化や攣縮や冠解離などが考えられるが、多くの場合その発症機序は明確ではない。本研究はMINOCA症例の冠動脈CTの血流及び冠動脈壁ずり応力をコンピュータシミュレーションを用いて解析にすることにより、その発症機序を解明し治療法の開発に繋げることである。



梅井 智彦 (32歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科 助教・大学院生

ヒト多能性幹細胞の代謝特性を利用した心臓発生研究の基盤構築と心不全治療への応用

ヒト多能性幹細胞は再生医療や創薬研究において有用な細胞資源ですが、狙った細胞のみに分化させることは難しく、分化の不安定性が大きな課題となっています。本研究は、心筋分化における代謝変動に着目して、代謝制御によって安定した心筋細胞の作製を目指しています。さらに、代謝の観点から心臓発生の複雑なメカニズムを解明することで、再生医療や心不全の創薬研究に応用することを目的としています。



沼田 玄理 (38歳) 東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教

核内GAPDH動態に着目した新規心不全メカニズムの解明

心血管疾患は世界的に増加しており、取り組むべき問題となっている。我々はGAPDHという酵素が心血管疾患に関連することを見出した。通常GAPDHはエネルギー代謝に関する酵素であるが、ストレス下では細胞核へ移行し、細胞死に関与すると報告されている。本研究ではGAPDHの核移行と心血管疾患発症の関連メカニズムを探索する。本新規メカニズムに伴う心血管疾患発症原因の解明と新しい治療法の開発が期待される。



樋口 諭 (39歳) 東京女子医科大学 循環器内科学講座 助教

頻発する心房性期外収縮に伴う心房心筋症形成の病態解明

心房細動のない孤発性の心房性期外収縮(PAC)は、これまで一般的には良性不整脈と考えられてきました。しかし、私は留学中において、頻発するPACが心房心筋症を引き起こし、心房細動の原因となる可能性を、動物モデルを用いて証明しました。本研究の目的は、このPAC誘発性心房心筋症という新しい概念を臨床研究に応用・発展させることです。この概念は、心房細動の発症を予防するための重要なアップストリーム治療への展望があり、本研究はその初歩となることが期待されています。



三木 健嗣 (39歳) 大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 特任講師

小児心臓検体を用いた新たなアプローチによる拡張型心筋症の病態解明と治療法の探索

小児拡張型心筋症は小児心筋疾患の中で最も多く、診断後1年で約26%、診断後10年で38%が死亡、あるいは心臓移植到達と報告され極めて予後不良の疾患であります。本研究では、申請者のiPS及びtissue engineeringの技術、そして共同研究者のオミクス解析技術を駆使し、これまでにないアプローチで小児拡張型心筋症の病態解明に取り組みます。



山下 侑吾 (38歳) 京都大学医学部附属病院 循環器内科 特定助教

遺伝疫学と臨床疫学の融合による静脈血栓塞栓症の個別化医療の実現を目指す研究

同じ疾病でも疾病の状況は人により個人差があるため、患者個人の状況により治療方針を変えて最適な治療方針を検討する事は重要である。しかしながら、現在では、患者個人の遺伝的な背景までの検証はなされていなかった。そこで、今回循環器疾患の中で比較的遺伝的な要因が大きいと考えられる静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)を対象として、遺伝疫学と従来の臨床研究の手法を統合し、遺伝的な背景までを加味した個別化医療・先制医療の発展を目指す研究を行う事とした。



横川 哲朗 (39歳) 福島県立医科大学 循環器内科 助教

細胞外マトリックス蛋白による肺高血圧症発症メカニズムの解明

肺動脈性肺高血圧症は指定難病の一つであり、新しい治療薬の開発が期待されています。今回の研究では、細胞外マトリックス蛋白に着目して、肺高血圧症の新たな発症メカニズムを明らかにします。さらには、これまでには開発されていない、細胞外マトリックス蛋白を対象とした、肺高血圧症に対する治療薬の開発につなげます。



吉田 尚史 (36歳) 国立循環器病研究センター研究所 研究室長

心房老化による心房細動マウスモデルの確立と脈不整が発する老化シグナルの同定

心房細動は有病率の高い不整脈であるだけでなく、がんや認知症の発症にも関連している。しかし、マウス個体で簡易かつ安定的に心房細動を誘導できるモデルは存在しない。そのため、これまで心房細動の発症機序を詳細に検討する事が困難であった。本研究により、心房細動モデルが確立すれば、そのマウスを用いて、心房細胞の病態機序を明らかとした上で、脈不整が個体老化に与える影響も解明できる。これにより、心房細動や関連合併疾患に対する予防法や治療法の確立が期待される。

第4回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成^{アイ}(I基金) 対象者

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



塚本 蔵 (51歳) 兵庫医科大学医学部 生化学講座 主任教授

Myotrope作用とサルコメア構造改善作用を有する心不全治療薬の開発

重症心不全治療において強心薬は必要不可欠ですが、予後への悪影響が懸念されます。本研究では、強心薬の欠点を克服した新しい心不全治療薬の開発を行います。心筋収縮の構造的・機能的最小単位であるサルコメアのタンパク質を標的とすることで、細胞内カルシウム動態に影響せずにサルコメアの収縮性増強(myotrope)作用と構造改善作用を発揮します。将来的には強心薬の代用として、重症心不全患者の血行動態を安全に安定化する薬となることが期待されます。



西山 崇比古 (43歳) 慶應義塾大学医学部 循環器内科 特任助教

プライム編集を用いた拡張型心筋症への治療法の開発

拡張型心筋症は、心機能低下や致死性不整脈を引き起こす疾患です。多くの遺伝子変異が同定されていますが、従来通りの薬物治療を行うのが現状です。近年、遺伝子編集技術は飛躍的な発展により、根治的治療や心不全発症予防になる新規治療として期待されています。本研究では、新規に開発された編集技術である、Prime editing (PE) を用いて拡張型心筋症の遺伝子変異を修復する技術を構築することを目的とします。

2024年度の主な心臓病予防啓発活動



8月10日は健康ハートの日 ハートはともだち ~ほめてあげよう、自分のハート~

今年も関連団体と協力して、心臓病予防のさまざまな啓発活動を企画しています。



AED20周年記念企画 まず呼ぼう AED

日本で誰もがAEDを使えるようになって、今年で20年。関連団体と協力して、AEDと心肺蘇生に関するさまざまな啓発活動を企画しています。

第49回 日本心臓財団「佐藤賞」



受賞者

伊藤 薫

理化学研究所生命医科学研究センター
循環器ゲノミクス・インフォマティクス
研究チーム チームリーダー

日本心臓財団佐藤賞は、当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられました。近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。

第49回受賞は研究テーマ『循環器多因子疾患のゲノム解析と精密医療の実現』により理化学研究所生命医科学研究センターの伊藤薫氏に決定しました。3月9日、第88回日本循環器学会学術集会(会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授)にて贈呈式が開催され、賞牌ならびに副賞100万円が贈呈されます。

第48回 日本心臓財団「草野賞」



受賞者

杉本 至健

山口大学 脳神経外科

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられました。この一年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の優秀な論文に対し贈られるものです。第48回受賞は『Spreading depolarization (拡延性脱分極)が脳虚血に及ぼす影響についての研究』という論文のテーマで山口大学脳神経外科の杉本至健氏に決定いたしました。来る3月8日、第49回日本脳卒中学会総会(会長：小笠原邦昭 岩手医科大学脳神経外科学教授)にて贈呈式が開催され、賞牌ならびに副賞50万円が贈呈される予定です。

日本心臓財団のセカンドオピニオンをご活用ください ▶ <https://www.jhf.or.jp/action/2ndopinion/>



あなたの主治医に聞けなかったこと、聞きたかったことはありますか？

日本心臓財団では、そんな心臓病に関するご相談をメールで受け付け、回答しています(無料)。

実際に病院で行われているセカンドオピニオンとは、診断や治療方針について主治医以外の意見を聞いてみたい場合に、主治医から紹介状を書いていただき、他病院の医師の意見を聞くことを言います。

日本心臓財団の行っているこのセカンドオピニオンは、主治医にうまく聞けなかったことや、病気や診療に対する疑問などについて、メールによるご相談をいただき、循環器専門医がメールでアドバイスするものです。

あくまで患者さんご自身のご理解を助けるもので、診断・治療をするものではありません。原則として病院の紹介はしていません。

また、症状をメールで訴えられても、実際の診断をしていないため、的確なアドバイスはできません。かかりつけ医を受診し、そのうえで心臓病に関するわからないことなどがありましたら、ご相談ください。

なお、専門医が診療の合間にボランティアにて回答しているため、回答には1~2週間かかることがあります。

ご相談いただいた内容と回答につきましては、同じような悩みを抱えた多くの方々の役に立つよう、個人を特定できないように編集したうえで、当財団のホームページに掲載させていただきます。

病気の解説や、過去の相談事例もご参考にしてください。

「疾患別解説」



<https://www.jhf.or.jp/check/opinion/>



第12回「心臓」賞 受賞者

日本心臓財団・日本循環器学会発行和文投稿誌「心臓」において、2023年の1年間に掲載された論文の中から、編集委員、Advisory Boardの先生方による推薦、選考のもとに、編集委員会にて症例部門、研究部門でそれぞれ最優秀賞1論文、優秀賞2論文が第12回「心臓」賞として選ばれました。

【症例部門】



最優秀賞 (副賞10万円)

茶谷 龍己

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院 循環器内科

Trastuzumabによる薬剤性心筋症にHeartMate3™を使用し救命できた1例

A Case of Cancer Therapeutics-Related Cardiac Dysfunction Caused by Trastuzumab Using HeartMate3™ to Save a Life

(心臓 2023;55(11):1110-1116)



優秀賞 (副賞5万円)

五味 遥

自治医科大学 小児科

二期的閉鎖の判断に肺生検が一助となった肺高血圧症を合併した心房中隔欠損症の小児例

Lung Biopsy for Determining Early Two-Stage Closure in Pediatric Case of Atrial Septal Defect With Pulmonary Arterial Hypertension

(心臓 2023;55(3):249-255)



優秀賞 (副賞5万円)

大窪 愛香

新潟市民病院 循環器内科

免疫チェックポイント阻害薬関連心毒性発症後の心筋ストレインの経時的変化を観察評価した1例

Serial Assessment of Temporal Changes in Myocardial Strain After the Development of Immune Checkpoint Inhibitor Related Cardiotoxicity : A Case Report

(心臓 2023;55(7):701-708)

【研究部門】



最優秀賞 (副賞10万円)

中西 一貴

東京大学医学部 医学科

人工知能が12誘導心電図から年齢を予測する際に重視する所見の解明

Clarifying the Process of Age Estimation From 12-lead ECG Data by Artificial Intelligence

(心臓 2023;55(6):581-590)



優秀賞 (副賞5万円)

前田 敏明

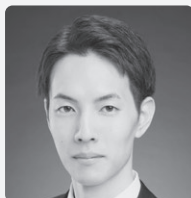
まえだ循環器内科

入浴は家庭よりも共同浴場が安全なのか
—入浴中急死リスク評価—

Is the Hot Bath Immersion in Japanese Public Bath Safer than That at Home?

—Evaluation of the Sudden Death Risk while Bathing—

(心臓 2023;55(8):836-842)



優秀賞 (副賞5万円)

福田 優人

医療法人川崎病院 循環器内科

当院過去11年間における冠動脈インターベンション中に発生した冠動脈穿孔例の検討

Coronary Artery Perforation During Percutaneous Coronary Intervention : Single-Center 11-year Experience

(心臓 2023;55(11):1081-1088)

AED 20周年記念「まず呼ぼう AED」

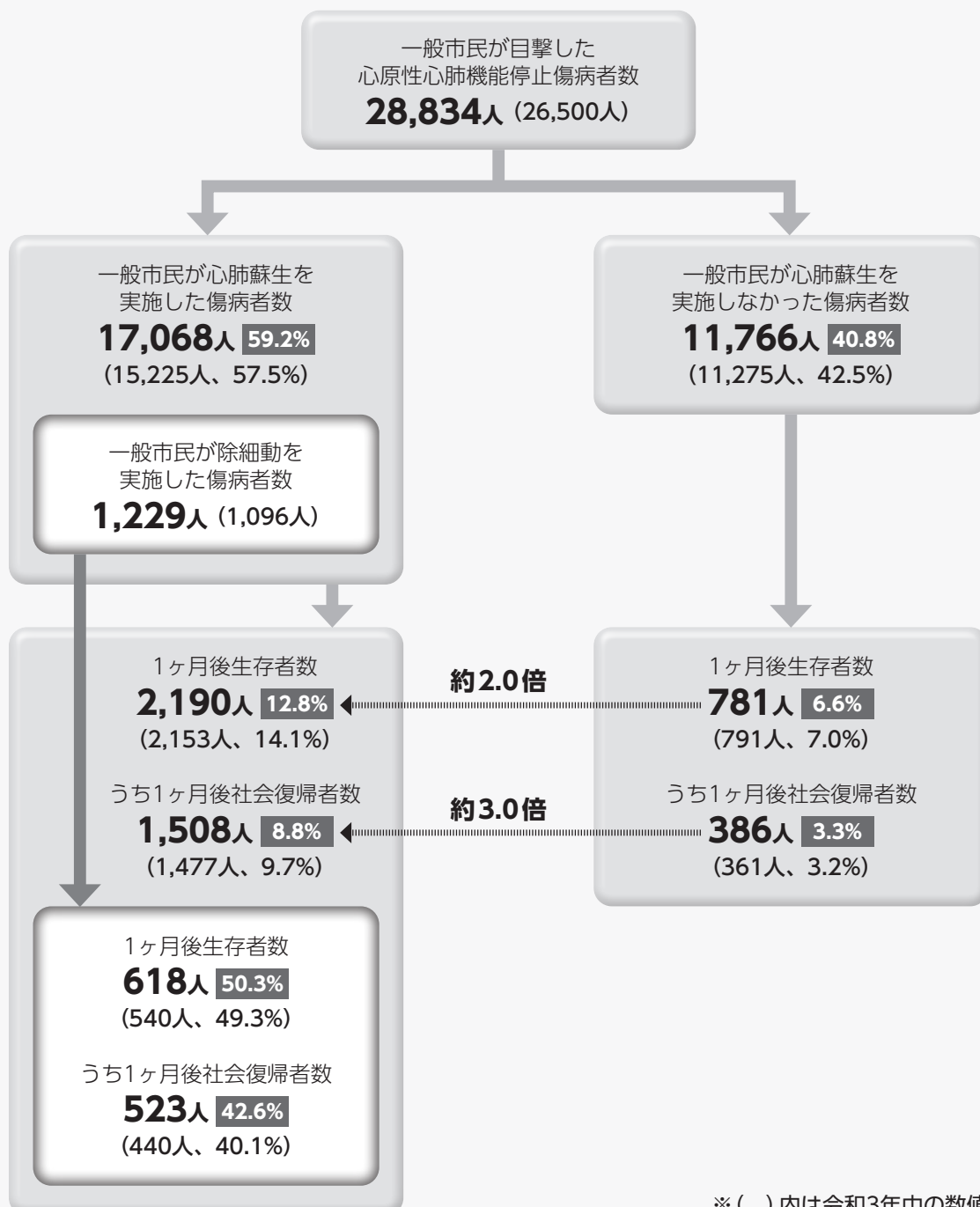
救急・救助の現況(令和5年版)

突然の心停止からの救命にはAEDによる迅速な電気ショックが不可欠です。日本で市民がAEDを使うことができるようになってから、今年はちょうど20年めになります。多くの市民がAEDという言葉を知り、街中に多くのAEDを見つけられるようになりました。

総務省消防庁の「救急・救助の現況」(令和5年版)によれば、一般市民が目撃した心原性心停止(心臓が原因の心停止)28,834人のうち、17,068人(59.2%)に一般市民が心肺蘇生を実施しており、一般市民による心肺蘇生実施率は約6割となっています。しかしながら、一般市民がAEDを使って電気ショックが行われたのは1,229人とわずか4.3%に過ぎません。

もっと多くのケースにAEDが使用され、もっと多くの命が救われる社会を目指して、AED20周年記念となる本年、関連団体が集まり、さまざまな啓発活動を実施していきます。

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち
一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率・社会復帰率(令和4年)



教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局) 賛助会員

札幌医科大学循環器内科	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	大阪医科薬科大学内科学III
北海道大学循環器内科	日本医科大学循環器内科	大阪大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科	日本医科大学多摩永山病院循環器内科	大阪大学臨床遺伝子治療学
東北医科薬科大学循環器内科	日本大学循環器内科	関西医科大学循環器内科
東北大学循環器内科	北里大学循環器内科	近畿大学奈良病院循環器内科
山形大学第一内科	昭和大学藤が丘病院循環器内科	奈良県立医科大学循環器内科
筑波大学循環器内科	聖マリアンナ医科大学循環器内科	神戸大学循環器内科
群馬大学循環器内科	東海大学循環器内科	神戸大学心臓血管外科
千葉大学循環器内科	横浜市立大学循環器内科	鳥取大学循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科	信州大学循環器内科	広島大学循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科	新潟大学循環器内科	山口大学器官病態内科学
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科	金沢医科大学循環器内科	香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科	金沢大学循環器内科	愛媛大学循環器内科
獨協医科大学埼玉医療センター	金沢大学心臓血管外科	徳島大学循環器内科
杏林大学循環器内科	富山大学第二内科	高知大学老年病・循環器内科
慶應義塾大学循環器内科	福井大学循環器内科学	九州大学循環器内科
順天堂大学循環器内科	順天堂大学医学部附属静岡病院	久留米大学心臓血管内科
帝京大学循環器内科	浜松医科大学循環器内科	福岡大学心臓血管内科
東海大学医学部附属八王子病院	愛知医科大学循環器内科	佐賀大学循環器内科
東京医科歯科大学循環器内科	名古屋市立大学循環器内科	長崎大学循環器内科
東京医科大学循環器内科	名古屋大学循環器内科	大分大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科	藤田医科大学循環器内科	熊本大学循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科	滋賀医科大学呼吸循環器内科	宮崎大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科	三重大学循環器内科	鹿児島大学心臓血管内科
東京大学循環器内科	京都大学循環器内科	
東邦大学循環器内科	京都府立医科大学循環器・腎臓内科	

病院(医院) 賛助会員

旭川リハビリテーション病院	野村病院	JR広島病院
木原循環器科内科医院	東大和病院	県立広島病院
札幌中央病院	武蔵野赤十字病院	東広島医療センター
札幌心臓血管クリニック	小田原循環器病院	済生会広島病院
札幌東徳洲会病院	横浜栄共済病院	福山循環器病院
札幌孝仁会記念病院	横浜南共済病院	さくらぎ循環器・内科クリニック
北海道社会事業協会帯広病院	済生会横浜市南部病院	美祢市立病院
本荘第一病院	抱生会丸の内病院	済生会今治病院
仙台厚生病院	金沢医療センター	今治第一病院
仙台循環器病センター	済生会富山病院	喜多医師会病院
三友堂病院	富山赤十字病院	市立宇和島病院
大原総合病院	市立湖西病院	近森会近森病院
福島赤十字病院	聖隷浜松病院	春陽会うえむら病院
高安内科循環器科	トヨタ記念病院	新小文字病院
国際医療福祉大学病院	澄心会名古屋ハートセンター	杉循環器内科病院
新小山市民病院	藤田医科大学ばんだね病院	福岡記念病院
慶友会慶友整形外科病院	岐阜県総合医療センター	福岡新水巻病院
博仁会第一病院	澄心会岐阜ハートセンター	福岡青洲会病院
千栄会高瀬クリニック	慈朋会澤田病院	済生会福岡総合病院
鶴谷病院	近江八幡市立総合医療センター	ヨコクラ病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院	伊勢赤十字病院	大分岡病院
蜂谷病院	宇治病院	済生会熊本病院
東葛病院	京都桂病院	都城市郡医師会病院
かわぐち心臓呼吸器病院	ゆやまクリニック	鹿児島市医師会病院
関越病院	小松病院	鹿児島生協病院
北里大学メディカルセンター	みどり病院	翔南会翔南病院
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	毅峰会吉田病院	かりゆし会ハートライフ病院
さいたま市民医療センター	神戸市立医療センター中央市民病院	
深谷赤十字病院	高清水高井病院	
板橋中央総合病院	健生会土庫病院	
江戸川病院	公立那賀病院	
関東中央病院	新宮市立医療センター	
榊原記念病院	誠佑記念病院	
聖路加国際病院心臓血管センター	倉敷中央病院	
虎の門病院	しげい病院	

医師会賛助会員

日本医師会
東京都医師会
上尾市医師会
葛飾区医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)	興和株式会社	様	日本軽金属株式会社	様
株式会社アクセル	株式会社SUMCO	様	日本光電工業株式会社	様
旭化成ゾールメディカル株式会社	三栄メディスン株式会社	様	日本心臓ペースメーカー友の会	様
アストラゼネカ株式会社	株式会社ジェイエムエス	様	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
アボットメディカルジャパン株式会社	住友金属鉱山株式会社	様	日本メドトロニック株式会社	様
アムジェン株式会社	株式会社世界貿易センタービルディング	様	日本ライフライン株式会社	様
株式会社 池野商店	ゼリア新薬工業株式会社	様	パイエル薬品株式会社	様
有限会社池野ビルメンテナンス	第一三共株式会社	様	ファイザー株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	大正製薬株式会社	様	フクダ電子株式会社	様
エモーションリンク合同会社	ダイナメディックジャパン株式会社	様	ブルーミング中西株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	大日本住友製薬株式会社	様	古河機械金属株式会社	様
小野薬品工業株式会社	中外製薬株式会社	様	ベストセクション株式会社	様
オムロンヘルスケア株式会社	テルモ株式会社	様	ボストン・サイエンティフィック	
株式会社オルリンクス製薬	株式会社トイント	様	ジャパン株式会社	様
カメラ買取市場	東京海上日動火災保険株式会社	様	三井金属鉱業株式会社	様
カリフォルニアくるみ協会	東邦亜鉛株式会社	様	株式会社三井住友銀行	様
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	株式会社東横イン	様	三菱電線工業株式会社	様
救心製薬株式会社	トーアエイヨー株式会社	様	三菱マテリアル株式会社	様
株式会社協和企画	株式会社ナック	様	明治安田生命保険相互会社	様
キリンホールディングス株式会社	NISSHA株式会社	様	持田製薬株式会社	様
クリックアンドバイ合同会社	株式会社日清製粉グループ本社	様	株式会社ヤガミ	様
株式会社グローライフ	日鉄鉱業株式会社	様	株式会社RUNWAYS	様
ケンツメディコ株式会社	日本アビオメッド株式会社	様		

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。(2023年11月～2024年1月)(五十音順)

石川 雄一様 片見 初江様 西村 重敬様 松井 義明・美恵子様 室原 豊明様 吉松 秀明様 他 匿名2名

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。(2023年11月～2024年1月)(五十音順)

麻生 薫様 梶原 誠様 加藤 千恵様 小池左右吉様 児玉 真悟様 ■小さなハートをつなぐ基金
 近藤絵美理様 嶋田 裕様 竹下 淳也様 故七原 誠司様 花澤 曜幸様 内田 太二様
 濱西 島子様 福田扶佐子様 藤嶋加奈子様 山本 和子様 若園 大様 薄田 清様
 若松百合子様 他 匿名14名 他 匿名2名

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げます。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店
普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店
普通 4025878

■ゆうちょ銀行
一般振替口座 00140-3-173597
(ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキユウ)店
当座 0173597)
口座名:公益財団法人 日本心臓財団
ザイ)ニホンシンソウザイダン